

大学名： 岐阜大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
<p>学校のユネスコスクール加盟を支援します。</p>	<p>1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。</p>	<p>厚見学園のユネスコスクール・チャレンジ期間終了に向けた取り組みを行うとともに、岐阜県ユネスコ協会とのユネスコスクール申請希望校について情報交換を行った。</p>
	<p>2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。</p>	<p>厚見学園のチャレンジ期間における取組を総括し、チャレンジ期間終了の判断を行った。</p>
	<p>3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。</p>	<p>大学主催の SDGs 勉強会 (https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/region/sdgs/session/) などについて案内した。</p>
<p>大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。</p>	<p>1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。</p>	<p>大学主催の SDGs 勉強会 (https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/region/sdgs/session/) などについて案内した。</p>
	<p>2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<p>本年度は協働して開催する活動計画がなかった。</p>
	<p>3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。</p>	<p>大学での勉強会などの紹介にとどまり、教材やモデルプロジェクトの協働開発にはいたらなかった。</p>
<p>地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。</p>	<p>1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<p>県教育委員会の関係部署と連絡を取り合った。</p>

	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	ユネスコスクールと関係する団体等を積極的に結びつけるような働きかけができなかった。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	県教育委員会の関係部署と連絡を取り合った。
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	地域を越えた働きかけができなかった。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	地域を越えた働きかけができなかった。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	グローバルな活動支援ができなかった。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	大学内の関係部署におけるユネスコ活動支援の年次目標を設定した。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	ユネスコスクールに関わる教育ができなかった。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	ユネスコスクールに関連した調査研究ができなかった。

	4. 自由記述	-